

部活動改革、その先へ ～地域で育むジュニアスポーツ～

「学校運動部活動」

今年度から3年間を「改革推進期間」として本格スタートした「部活動改革」——
休日の部活動の地域連携・移行について地域の実情に応じ、可能な限り早期の実現をめざす。今号は、昨年11月末に行われた「第4回運動部活動改革に向けたJSPO加盟団体ミーティング」で発表された中央競技団体の取り組みをレポートする。



「第4回運動部活動改革に向けたJSPO加盟団体ミーティング」レポート

「中学校等の運動部活動の地域移行に関するNFとしての取組」
……小峯秋二日本ソフトテニス連盟運動部活動地域移行推進委員会委員長

日本ソフトテニス連盟の取り組み概要

- 検討委員会を設置し、ソフトテニス関係者全員で意識共有
- 中央競技団体としてアンケートを実施



地域ソフトテニスの構図
自体の刷新を説いた日本
ソフトテニス連盟の小峯
秋二氏

まず、関係者全員で意識共有へ

2022年度から「運動部活動

地域移行推進委員会」を設立、
会議を進め、'22年10月には全国
担当者会議を開き、運動部活動
地域移行のPF（都道府県競技
団体）各担当が会議も実施しま
した。

現在の地域ソフトテニスの構図
は、学校部活動と地域の活動が
分散している構造となっています
が、これを子どもたちを真ん中に
据えた構造に変え、生涯ソフト
テニスを楽しめるような支援を考
えていく必要があります。こう

いったスタンスで課題に取り組んで
いくことについて、今、ソフトテニス
関係者全員の意識共有を図ってい
ます。

それに先立ってNF（中央競技
団体）としては、まず「ミッション
（使命）ビジョン（展望）バリュー
（行動指針）」を策定することが
大切であると考えます。ミッシ
ョンとしては、地域移行への課題検
討を通してスポーツ界全体に貢
献することが肝要です。ビジョ
ンは、①地域との連携をより多く、

②発想豊かな競技の実現、③指
導者の支援と効率活用を掲げ、
そのうえでPF担当者にはこのビ
ジョンを基にアクションプランの作

成を依頼しました。

そして、すでに②と③は当委員
会で取りまとめている段階となっ
ておりますが、子どものニーズは、
市区町村大会出場をめざす者、
トップ層をめざす者など広範囲
にわたるなか、どうすれば全員を
サポートできるのか、そして、指導
者が中学校教員を支えていくに
は何か必要なのかを重点的に話
し合いました。

多様な声へ柔軟対応

さて、ここに中学生7569人
（男子3597人、女子3972
人。中部地方を中心に東北から
九州・沖縄地方対象へのアンケ

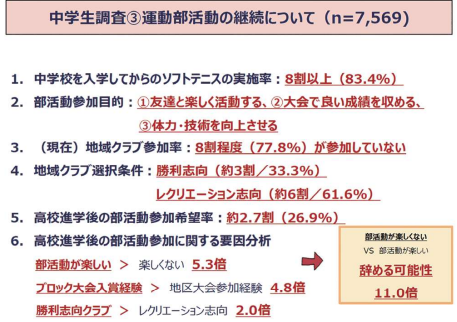
ト結果があります。それによる
と、部活動参加の目的は「友達と
楽しく活動」「大会で良い成績」

「体力・技術を向上」などが挙が
り、地域クラブの選択条件として
は「レクリエーション志向」が約6
割、「勝利志向」が3割という回
答。高校進学後、部活動に参加す
るのは「部活動が楽しい」「プロッ
ク大会入賞経験がある」「勝利志
向」の子どもたちが多いというこ
とも明らかにしました（図表1
参照）。

一方、指導者へのアンケート（部
活動指導者1281人、地域指導
者71人）では、地域移行に「賛成」
の部活動指導者は8割以上。そ
して、約6割は「地域クラブ活動
の指導者としては参加しない」意
向を示しています。また、地域移
行の現状としては、「準備段階」
もしくは「未着手」が7割強とい
う結果でした。

地域移行の方法としては、「学
校活動として残してほしい」とい
う意見がある。一方、各地域団体な
どへの移行を推す声も多く、考え
方が分かれる結果となりました
（図表2参照）。また、地域クラブ
活動には不参加の意向の部活動
指導者からは、「競技団体でクラ
ブをつくるべき」という声が多く
上がっています（図表3参照）。

■図表1:中学生が部活動に期待すること



■図表2:指導者から見た地域移行と現状

指導者調査①地域移行について (N=1281, N=71)

項目	部活動指導者		地域指導者	
	n	%	n	%
地域移行化への意見				
賛成・どちらかという賛成	1029	80.4	47	66.2
反対・どちらかという反対	251	19.6	24	33.8
指導者としての参加意思				
参加・どちらかという参加	364	28.4	52	73.2
不参加・どちらかという不参加	755	59.0	7	9.9
わからない	162	12.6	12	16.9
地域移行の現状				
開始している	194	15.1	24	33.7
準備段階である	439	34.3	19	26.8
開始していない	531	41.5	20	28.2
わからない	117	9.1	8	11.3
地域移行の方法				
学校基盤・学校型クラブ	281	21.9	18	25.4
地域基盤・学校地域連携型クラブ	380	29.7	25	35.2
地域基盤・競技団体型クラブ	361	28.2	13	18.3
地域基盤・スポーツ少年団	259	20.2	15	21.1

■図表3:指導者が求めている移行方法

指導者調査①移行方法 (n=1,281)

地域移行方法	学校型クラブ		総合型クラブ		競技団体型クラブ		スポーツ少年団		合計
	n	%	n	%	n	%	n	%	
指導者意向									
勝利志向	18	40.0%	12	26.7%	10	22.2%	5	11.1%	45
ベスト志向	73	34.4%	81	38.2%	31	14.6%	27	12.7%	212
フェア志向	32	47.1%	16	23.5%	14	20.6%	6	8.8%	68
生涯スポーツ志向	16	41.0%	14	35.9%	3	7.7%	6	15.4%	39
不参加群									
勝利志向	9	17.0%	16	30.2%	15	28.3%	13	24.5%	53
ベスト志向	46	12.5%	108	29.4%	336	37.1%	77	21.0%	367
フェア志向	24	10.6%	58	25.7%	80	35.4%	64	28.3%	226
生涯スポーツ志向	8	7.3%	28	25.7%	38	34.9%	35	32.1%	109
未定群									
勝利志向	5	27.8%	5	27.8%	4	22.2%	4	22.2%	18
ベスト志向	28	34.1%	24	29.3%	20	24.4%	10	12.2%	82
フェア志向	15	37.5%	14	35.0%	6	15.0%	5	12.5%	40
生涯スポーツ志向	7	31.8%	4	18.2%	4	18.2%	7	31.8%	22
合計	281	21.9%	380	29.7%	361	28.2%	259	20.2%	1281

「中学校部活動の地域移行について」地域合同部活動『三鷹市空手道部』の場合、空手道部創設の企画から実施まで

……日下修次全日本空手道連盟顧問

全日本空手道連盟の取り組み概要

- 東京都三鷹市と連携した取り組み
- 全日本実業団空手道連盟を通じた企業へのアンケート実施

普及へ官学と強力タッグ

2012年度から中学校武道
の必修化が完全実施され、当連

盟では、空手道授業での指導案や
指導法などをまとめた『空手道
指導の手引き』を作成。同時に、
中学・高校教員を中心に推進委

員会を組織しました。

その後、空手道授業の普及活動
および部活動の普及振興を目的
として研修会や講習会を実施。



全日本空手道連盟顧問の
日下修次氏は、部活動
改革を機にさらなる空手
道普及を語った

運動部活動改革のねらいは、中学校顧問教諭の過重労働解消、中学生が多様なスポーツに触れる機会を増やすための新たな部活動種目創設などですが、着目したのは後者。地域合同部活動創設は、当連盟にとって初の試みであり、将来の学校部活動のあり

当時の三鷹市教育委員会指導課長は地域合同部活動設立に大変熱心で、当連盟とも親交があり、また連盟には「空手道を地域合同部活動のフラッグシブクラブ」という強い希望がありました。そこで、上記3者による話し合いを依頼し、NFとして次のような内容を提案、決定されました。

三鷹市の公立中学校全校生徒約3500人に、これから空手道部が始まりますよとイベントに向けた告知リーフレットを作成し、2学期始業時(22年8月25日)に配布(図表4参照)。イベント当日(同9月19日)はオリン

人の入部申し込みがありました。

一方、地域移行についての課題を
図表6にまとめます。うち、競技
会への合同チームでの参加について
は、先日、三鷹市の市民スポーツ大
会に部員8人が出場。やはり子ど
もたちは競技会に出場すること

業などからの指導者派遣は可能か」という現実的にはなかなか難しい問題について回答を求めました。

①の施設開放は、「企業内クラブでローテーションがあり、また土日の企業内のリスク管理などをを

考慮すると難しい」という回答。ただし②の指導者派遣は、「各企業に有資格指導者が多数おり、積極的に支援ができる」という回答でした。

4 Japan Sport Association

Sport Japan 2024/03-04 72

■図表4:「空手道部」実施への3つの提案

三鷹市地域企画部活動「空手道部」実施の提案



4. 指導者の指導料
三鷹市が支給 1 時額 2,000 円 (交通費含む)

5. 部員から徴収する科目と金額

- 1) 部費：— 人 1,000 円 / 年
- 2) スポーツ保険料：— 人 800 円 / 年

6. キックオフイベントの開催
期日：令和 4 年 9 月 9 日(祝)

場所：1 回目 10:00～11:00
三鷹南中学校体育館
(第 1、3、5、6 中学校がエリア)

2 回目 14:00～15:00
三鷹西中学校体育館
(第 1、2、4、7 中学校がエリア)

三鷹市にある部活動が出来る

キックオフイベントの開催！

期日：令和 4 年 9 月 9 日(祝)

時間：10:00～11:00 / 14:00～15:00

会場：三鷹南中学校体育館
三鷹西中学校体育館

※ 会場は令和 4 年度に予定されている中学校の体育館となります。

※ 会場は令和 4 年度に予定されている中学校の体育館となります。



三鷹市地域企画部活動「空手道部」のキックオフイベントの様子

※ 令和 4 年度に予定されている中学校の体育館となります。

内容：オリンピックのトークと地域の横綱決選
Q&A 質疑応答 写真撮影など(計 5 分)

■図表5:多方面からの参加を得たキックオフイベント

[illegible]

■図表6: 中学校部活動、地域移行への課題

中学校部活動の地域移行についての課題

1. **学校部活動の地域移行に対する国や地方自治体による支援の充実**
 - ・ 外部指導員の指導手引
 - ・ 学校部活動指導員（指導要員の許可を得た教員）の特別勤務手当
 - ・ 部員保護者による費用負担に軽減あるいは顕微化
 - ・ 地域活動の費用負担については、多様な費用の捻出から保護者による費用負担が原則との考えがあるが、国や地方自治体から費用負担を減らすことが望ましい。
 - ・ 地域活動の活動場所や用具の確保に必要な費用負担
 - ・ 施設大会・地域大会チームとして参加できるようにすること、新しい種目を加えること。
 - ・ 多様なスポーツに転がる機会を許可すること。
2. **競技団体の支援体制充実**
 - ・ 質の高い指導者の確保（JSCの指導者資格保有者）
 - ・ 伝達能力（言葉交番能力）との連携強化
 - ・ 大学・高校の空手道部員が協賛体制

運動部活動改革は、中学校部活動の活性化を図り、中学生が多様なスポーツに触れる機会の創出においては歓迎すべきこと。当連盟としては、今回の改革の状況や課題を見極め、地域の競技団体や民間企業の協力を得て、学生にとって望ましい地域部活動の実現、ならびに学校の働き方改革を通して、学校教育の質の向上に貢献したいと考えています。

SJ